

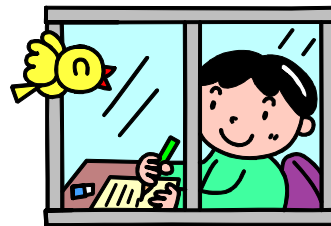


家庭学習の手引き (1年生用)



1 学習時間 (いつ、どれくらいの時間するか)

- 30分は、かならず机に向かうようにします。
- 学習が終わるまでは、席をはなれずにがんばります。
- 学校から帰ったら、できるだけ早く学習にとりかかります。
- 休みの日は、午前中にすませるようにします。



2 学習内容 (どんな学習をするか)

- 家庭学習には、
 - ・先生から出された学習に取り組む毎日の『デイリーメニュー』
 - ・進んでいろいろな学習に取り組む『ファイトメニュー』があります。『デイリーメニュー』をすませてから、『ファイトメニュー』にもチャレンジしてみましょう。

★『デイリーメニュー』…次のような学習の中で、先生から出されたものに取り組みます。(いつもぜんぶあるわけではありません)

- (1) 日記コース
 - ・今日一日学校であったこと、心に残ったことなどを書きます。ならった漢字はしっかり使って書きましょう。
- (2) ひらがな、カタカナ、漢字コース
 - ・お手本をよく見て、ひらがな、カタカナ、漢字をノートに練習します。
 - ・書きじゅん、とめ、はね、はらいなどに気をつけて、50字くらい書きます。
- (3) 音読コース
 - ・国語の教科書を、声に出して読みます。できるようになったら暗唱にも挑戦してみましょう。
- (4) ドリル・プリントコース
 - ・先生から出されたプリント、ドリルの問題に取り組みます。
 - ・ドリルの問題は、きまったノートに書くようにします。



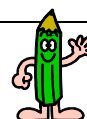
★『ファイトメニュー』…先生から出された学習がないときや、早く終わったとき、やりたい学習を見つけたときに取り組みます。

- (1) 問題コース
 - ・自分のもっている問題集や練習帳に取り組んでみましょう。
- (2) 読書コース
 - ・学校の図書室、町立図書館などで借りた本やもっている本を読みましょう。
 - ・読んだ本で心に残ったところなどを絵や文にかいておくのもいいことです。



3 ここに気をつけよう

- おうちの人に言われる前に、自分から進んで学習しましょう。
- きまった場所で学習します。学習が終わるまでは、ほかのことをしないようにしましょう。
- おうちの人と、何時何分から何時何分まで学習するかを話し合っておきましょう。



保護者の方へ

- ・子どものやる気は褒められることで大きくなります。自分で取り組んだこと、最後まで書き上げたこと、正しくできたことなど、よさを見つけて認めてあげてください。
- ・進んで学習するためには、学習する環境づくり(家族での読書タイム、テレビを消すなど)に、家族全員で取り組むことが重要なポイントです。
- ・学習したものには見届けをお願いします。

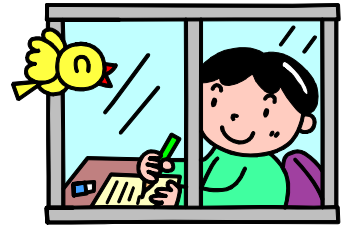


家庭学習の手引き (2年生用)



1 学習時間 (いつ、どれくらいの時間するか)

- **40分**は、かならず机に向かうようにします。
- 学習が終わるまでは、席をはなれずにがんばります。
- 学校から帰ったら、できるだけ早く学習にとりかかります。
- 休みの日は、午前中にすませるようにします。



2 学習内容 (どんな学習をするか)

- 家庭学習には、
 - ・先生から出された学習に取り組む毎日の『デイリーメニュー』
 - ・進んでいろいろな学習に取り組む『ファイトメニュー』があります。『デイリーメニュー』をすませてから、『ファイトメニュー』にもチャレンジしてみましょう。

★『デイリーメニュー』…次のような学習の中で、先生から出されたものに取り組みます。(いつもぜんぶあるわけではありません)

- (1) 日記コース
 - ・今日一日学校であったこと、心に残ったことなどを書きます。習った漢字はしっかり使って書きましょう。
- (2) 漢字コース
 - ・習った漢字をていねいにノートに練習します。
 - ・書きじゅん、はね、はらい、とめなどに気をつけて、80字くらい書きます。
- (3) 音読コース
 - ・国語の教科書を、声に出して読みます。はっきりと、元気に読みましょう。
- (4) ドリル・プリントコース
 - ・先生から出されたプリント、ドリルの問題に取り組みます。
 - ・ドリルの問題は、きまったノートに書くようにします。



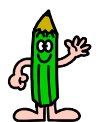
★『ファイトメニュー』…先生から出された学習がないときや早く終わったとき、やりたい学習を見つけたときに取り組みます。

- (1) 問題コース
 - ・自分のもっている問題集や練習帳に取り組んでみましょう。
- (2) 読書コース
 - ・学校の図書室、町立図書館などで借りた本やもっている本を読みましょう。
 - ・読んだ本で心に残ったところなどを絵や文にかいておくのもいいことです。
- (3) もっと知りたいコース
 - ・授業で勉強したことで、もっと調べたいことなどをノートなどにまとめてみよう。



3 ここに気をつけよう

- おうちの人に言われる前に、自分から進んで学習しましょう。
- きまった場所で学習します。学習が終わるまでは、ほかのことをしないようにしましょう。
- おうちの人と、何時何分から何時何分まで学習するかを話し合っておきましょう。



保護者の方へ

- ・子どものやる気は褒められることで大きくなります。自分で取り組んだこと、最後まで書き上げたこと、正しくできたことなど、よさを見つけて認めてあげてください。
- ・進んで学習するためには、学習する環境づくり(家族での読書タイム、テレビを消すなど)に、家族全員で取り組むことが重要なポイントです。
- ・学習したものには見届けをお願いします。

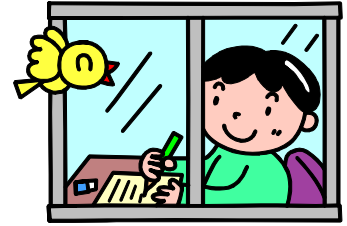


家庭学習の手引き (中学年用)



1 学習時間 (いつ、どれくらいの時間するか)

- **50分から60分**は、かならず机に向かうようにします。
- 学習が終わるまでは、席をはなれずにがんばります。
- 学校から帰ったら、できるだけ早く学習にとりかかります。
- 休みの日は、午前中にすませるようにします。



2 学習内容 (どんな学習をするか)

- 家庭学習には、
 - ・先生から出された学習に取り組む毎日の『デイリーメニュー』
 - ・進んでいろいろな学習に取り組む『ファイトメニュー』があります。『デイリーメニュー』をすませてから、『ファイトメニュー』にもチャレンジしてみましょう。

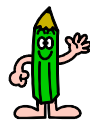
★『デイリーメニュー』…次のような学習の中で、先生から出されたものに取り組みます。(いつもぜんぶあるわけではありません)

- (1) 日記コース
 - ・今日一日学校であったこと、心に残ったことなどを書きます。習った漢字はしっかり使って書きましょう。
- (2) 漢字コース
 - ・習った漢字をノートに練習します。100字程度書けるといいです。
- (3) 音読コース
 - ・国語の教科書を、声に出して読みます。はっきりと、元気に読みましょう。
- (4) 自学ノート・プリントコース
 - ・自学ノートに予習・復習をします。(計画とふり返しを書きます。)
 - ・先生から出されたプリント、ドリルの問題に取り組みます。



★『ファイトメニュー』…先生から出された学習がないとき、早く終わったとき、やりたい学習を見つけたとき取り組みます。

- (1) 問題コース
 - ・自分のもっている問題集や練習帳に取り組んでみましょう。
- (2) 読書コース
 - ・学校の図書室、町立図書館などで借りた本やもっている本を読みましょう。
 - ・読んだ本で心に残ったところなどを絵や文にかいておくのもいいことです。
- (3) もっと知りたいコース
 - ・授業で勉強したことで、もっと調べたいことなどをまとめてみよう。
- (4) しっかり練習コース
 - ・授業でした教科書の問題や、ドリル、プリントをもう一度ノートにやってみる。



3 ここに気をつけよう

- おうちの人に言われる前に、自分から進んで学習しましょう。
- きまった場所で学習します。学習が終わるまでは、ほかのことをしないようにしましょう。
- おうちの人と、何時何分から何時何分まで学習するかを話し合っておきましょう。

保護者の方へ

- ・子どものやる気は褒められることで大きくなります。自分で取り組んだこと、最後まで書き上げたこと、正しくできたことなど、よさを見つけて認めてあげてください。
- ・進んで学習するためには、学習する環境づくり(家族での読書タイム、テレビを消すなど)に、家族全員で取り組むことが重要なポイントです。
- ・学習したものには見届けをお願いします。

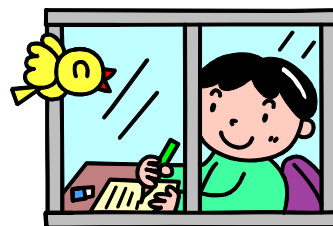


家庭学習の手引き（高学年用）



1 学習時間（いつ、どれくらいの時間するか）

- **70分から80分**は、机に向かうようにします。
- 学習が終わるまでは、席をはなれずにがんばります。
- 学校から帰ったら、できるだけ早く学習にとりかかります。
- 休みの日は、午前中にすませるようにします。



2 学習内容（どんな学習をするか）

- 家庭学習には、
 - ・先生から出された学習に取り組む『デイリーメニュー』
 - ・進んでいろいろな学習に取り組む『ファイトメニュー』があります。『デイリーメニュー』をすませてから、『ファイトメニュー』にもチャレンジしてみましょう。

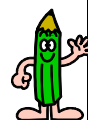
★『デイリーメニュー』…次のような学習の中で、先生から出されたものに取り組みます。（いつもぜんぶあるわけではありません）

- (1) 日記コース
 - ・今日一日の出来事、心に残ったことなどを書きます。習った漢字はしっかり使って書きましょう。あったことだけでなく、心情を詳しく書くといい日記になります。
- (2) 漢字コース
 - ・習った漢字をノートに練習します。100字は書きましょう。
 - ・辞典をそばに置いて、熟語や対義語、同義語なども調べながら書くと語彙が広がります。
- (3) 音読コース
 - ・国語の教科書を、声に出して読みます。はっきりと、元気に読みましょう。
- (4) 自学ノート・プリントコース
 - ・自学ノートに予習・復習をします。（計画とふり返りを書きます。）
 - ・先生から出されたプリント、ドリルの問題に取り組みます。



★『ファイトメニュー』…先生から出された学習がないときや、早く終わったとき、やりたい学習を見つけたとき取り組みます。高学年では、ファイトメニューを充実させていきましょう。

- (1) まとめ名人コース
 - ・その日、その週、学習した内容で、ポイントや大切だと思ったところを自分なりにまとめたり、復習の練習をしてみます。
 - ・**練習を通して、しっかりできるようになっていきます。**
- (2) 学習先取りコース
 - ・次の日、次の週、学習することを教科書を見ながら問題に挑戦してみます。もしできなかったら、どこが分からなかったかまとめておくといいでしょう。
 - ・**授業がよく分かるようになり、発表もたくさんできるようになります。**
- (3) もっと追究コース
 - ・学習したことの中からもっと知りたいと思ったこと、疑問に思ったことなどを自分なりに調べて、ノートにまとめていきます。
 - ・**復習ができるとともに、いろんな知識が身に付けられます。**
- (4) 修行コース
 - ・自分のもっている問題集や練習帳、ドリルなどで練習に取り組んでみましょう。
 - ・**苦手を克服できると学習が楽しくなります。**
- (5) 読書コース
 - ・学校の図書室、町立図書館などで借りた本やもっている本を読みましょう。
 - ・読んだ本で心に残ったところなどを絵や文にかいておくのもいいことです。



3 ここに気をつけよう

- おうちの人に言われる前に、自分から進んで学習しましょう。
- きまった場所で学習します。学習が終わるまでは、ほかのことをしないようにしましょう。
- おうちのひとと、何時何分から何時何分まで学習するかを話し合っておきましょう。

保護者の方へ

- ・子どものやる気は褒められることで大きくなります。自分で取り組んだこと、最後まで書き上げたこと、正しくできたことなど、よさを見つけて認めてあげてください。
- ・進んで学習するためには、学習する環境づくり（家族での読書タイム、テレビを消すなど）に、家族全員で取り組むことが重要なポイントです。
- ・高学年でも学習したものはできるだけ細やかな見届け、励ましをお願いします。